

あっという間に補助輪パス！ ケッターサイクル®

専用

取扱説明書

取説202104

People 発売元 ピーブル株式会社
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-15-5 VORT東日本橋

●商品のお問い合わせはお客様相談係まで
※電話受付時間：月～金（祝日を除く）10:00～12:00・13:00～16:00
TEL 03 (3862) 3739 FAX 03 (3862) 3730
●ピーブルホームページ…… <https://www.people-kk.co.jp/>

特許出願済

生産物賠償責任保険付

この度は「ケッターサイクル」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この「ケッターサイクル」には、特殊な機能、注意事項がございます。あらかじめ、「自転車共通取扱説明書」および「ケッターサイクル専用取扱説明書」(本冊子)の両方を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

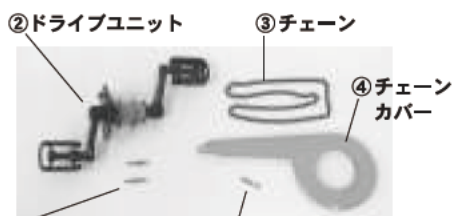


自転車を使う場合は、事前に保護者の方が本書を必ず読んで、正しい乗り方と危険なこと、してはいけないことをよく指導してください。不適切な取り扱いや調整は人身事故につながる危険があります。警告・注意・禁止・強制事項は必ずお守りください。

目次

- | | | | |
|------------------------|------------|-----------------------------|------------|
| ■ 1) セット内容 | _____ P1 | ■ 5) 乗る前の点検について | _____ P4 |
| ■ 2) 各部のなまえ | _____ P1 | ■ 6) 長くご愛用いただくためのコツ | _____ P5 |
| ■ 3) 組み立て方法 | _____ P2~3 | ■ 7) 故障かな?と思ったら…トラブルシューティング | _____ P5~6 |
| ■ 4) ケッターサイクル特有の機能について | _____ P3~4 | | |

1) セット内容 … 必ずご確認ください。



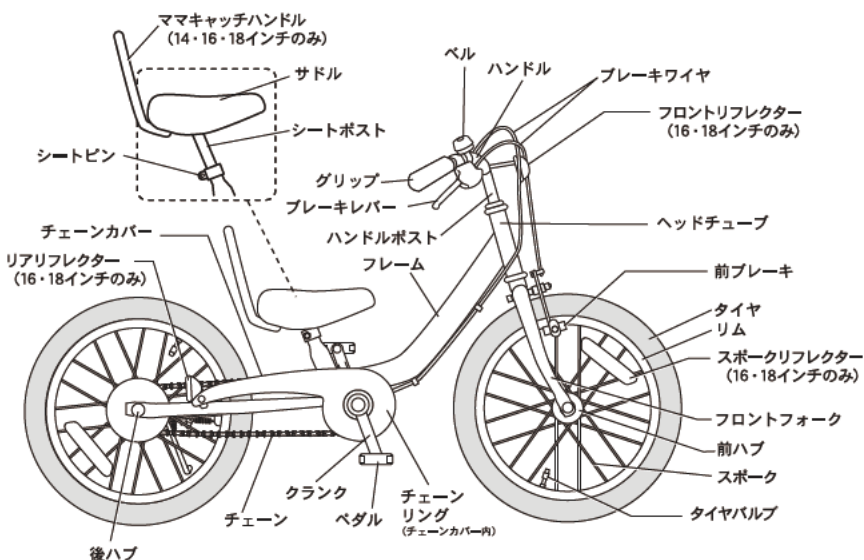
- ⑤固定ボルト×2
※ドライブユニット固定用
※ワッシャ、スプリングワッシャ付
- ⑥チェーンカバービス×3
※チェーンカバーの裏に貼付けてあります。
※ワッシャ付

⑦品質保証書付自転車
共通取扱説明書

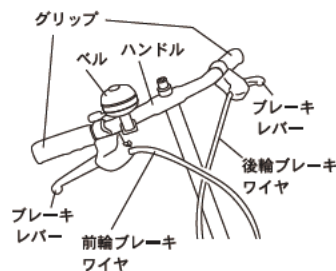
⑧ケッターサイクル
専用取扱説明書
(本冊子)

※お買い上げ店舗によって組み立てられている場合があります。
※組み立てに必要な工具は付属していません(P2~P3参照)。ホームセンター等でお求めください。

2) 各部のなまえ ※タイヤサイズによって仕様が一部異なります。



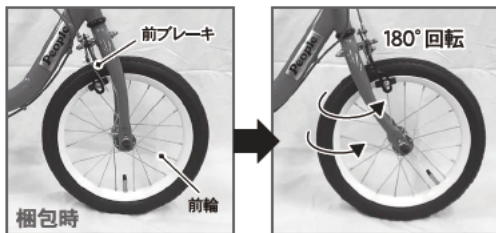
<ハンドル部分>



3) 組み立て方法 (お買い上げのお店によって組み立てられている場合があります)

■足けりモードの組み立て■

1 箱からとり出し梱包材をはずします。



※梱包時に、前輪をうしろ向きにしている車体がございます。前ブレーキが前にくるよう、前輪を180°回転させてください。

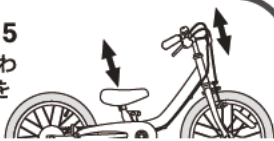
2 ハンドルを差し込みます。(固定は、サドルとハンドルの調整時にします)



注1) ハンドルポストの先に付いている部品(ウス)を下の図のように正しい位置にして差し込んでください。

注2) 図のように、
a 前輪ブレーキワイヤが
b 後輪ブレーキワイヤの上に
交差するように取り付けます。

3 自転車共通取扱説明書 P5 の説明に従い、体型に合わせてサドルとハンドルの高さを調整し、固定してください。



※ハンドルの締め付けトルクは、16N・mで設定しています。過度な力での締め付けはパーツの変形や破損の原因となりますので、おやめください。

4 足けりモード 完成 足けり遊びでバランスをとる練習をしてください。



- 乗車前には必ず保護者の方が正しく固定されているかを確認してください。
- 「ドライブユニット」など、「自転車モード」に必要な部品は大切に保管してください。

■自転車モードの組み立て■

ドライブユニットの取り付けはご自宅で出来ますが、不安な方は自転車店で行うことを推奨します。作業費用が有料になる場合がございますので、詳細は販売店にご確認ください。

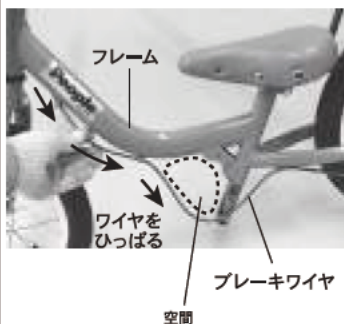
「足けりモード」で十分遊び、お子様が1人でバランスが取れるようになったらドライブユニットを取付け、ペダルを「漕ぐ」練習をしてください。

※安全のため、作業をする方は軍手等を装着して行ってください。

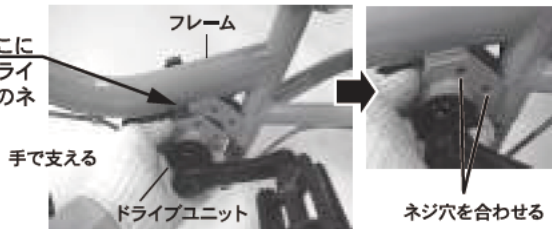


←動画マニュアルもご覧ください。
2次元コードを読み取ると動画へアクセスできます。

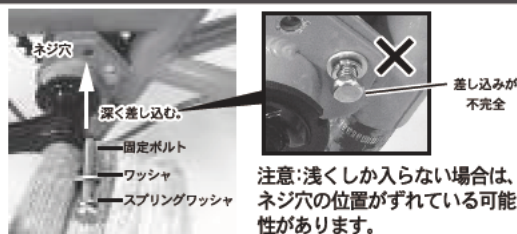
1 セット内容②～⑥(本書P1参照)を用意する。フレーム下のブレーキワイヤを図の矢印の方向に引っ張り出し、図の点線部に空間をつくる。



2 <位置合わせ> ドライブユニットをここに入れ(向きに注意)、ドライブユニットとフレームのネジ穴を全て合わせる。

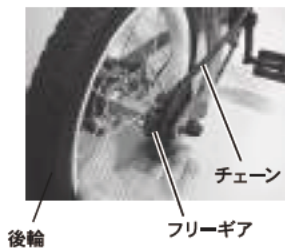


3 <仮止め> 固定ボルト、ワッシャ、スプリングワッシャを図のように組み合わせ、2本をネジ穴に完全に差し込んで仮止める(ゆるめにとめておく)。



注意: 浅くしか入らない場合は、ネジ穴の位置がずれている可能性があります。

- 4** ①チェーンを後輪のフリーギアの歯にかける。 ②ドライブユニットのギア下側の歯にかける。 ③この状態でペダルを反時計回りに回転させるとチェーンが完全にかかる。(回す時に少し力をかける必要があるかもしれません)



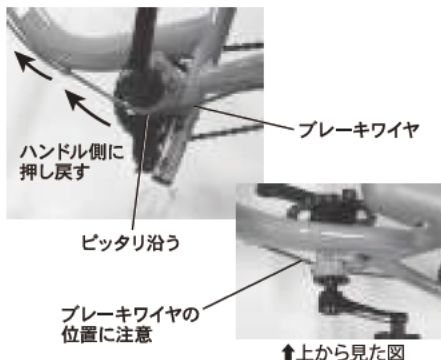
注意:チェーンを完全にかけた後、ペダルを反時計回りに何回か回してチェーンが外れないか確認してください。
※チェーンが固く、かかりにくい場合は、クランクの向きを90度ほど変えて、再度試してみてください。
※チェーンが外れる場合は①～③をやり直してください。

- 5** ドライブユニット固定ボルトをレンチで強く締める(10N・m)。



固定ボルトが走行中にゆるむとドライブユニットが脱落して大ケガにつながる可能性があります。乗車前に固定ボルトがゆるんでいないか、ドライブユニットにガタつきがないか確認してください。

- 6** たるませていたブレーキワイヤを、ドライブユニットにピッタリ沿うまで押し戻す。



- 7** チェーンカバーを取付け、図の3点をチェーンカバーピス・ワッシャーで固定する。
※最初に3点をゆるめに仮止めた後、全てのピスをしっかりと締める。



- 8** 自転車モード完成



- 乗車前には必ず保護者の方が正しく固定されているかを確認してください。
- 「ドライブユニット」は大切に保管してください。

※ドライブユニットの取り外しは①～⑦を逆の手順で行ってください。難しい場合は、自転車店にご依頼ください。(有料の場合があります)

4) ケッターサイクル 特有の機能について

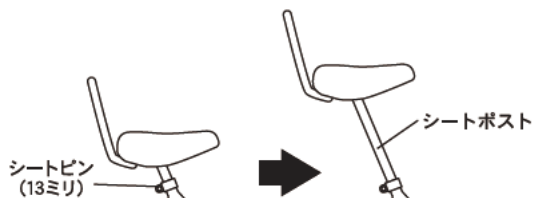
■サドル・ハンドルの調整■

この商品は、お子様に長く快適に乗り続けていただくため、ハンドルとサドルに特別な調整が必要です。

※ハンドルの高さ調整については、「自転車共通取扱説明書」P5を参照してください。

サドルの高さ調整

- ペダルを外して「足けりモード」で乗る時は、両足がピッタリと地面につき、ひざが曲がるくらいの低さに調整してください。
- ペダルを付けて「自転車モード」で乗る時は、両方の足先が確実に地面につくように調整してください。



※サドルの固定方法については「自転車共通取扱説明書」P5を参照してください。

	適正身長	サドル地上高さ
12インチ	約 85cm (2歳半)	約 33 cm
	約115cm (6歳)	最大まで伸ばす
14インチ	約 90cm (3歳)	約 34 cm
	約120cm (7歳)	最大まで伸ばす
16インチ	約 93cm (3歳半)	約 37 cm
	約125cm (8歳)	最大まで伸ばす
18インチ	約100cm (4歳)	約 40 cm
	約130cm (9歳)	最大まで伸ばす



- シートポストは限界標識線が見える所で固定しないでください。(自転車共通取扱説明書P2 参照)
- ボルトの固定が不十分だと危険です。しっかり固定してください。

■ライトについて■

本商品にはライトが付属していないため、将来夜間及び暗い所を走行する時は、必ずライトを装備し、点灯するようにしてください。

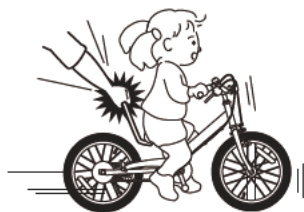
※ライトは、ハンドルに取り付ける前照灯タイプのものをお買い求めください。
※形状によっては取り付けられないものもありますので、購入時に販売店にご相談ください。

■ママキャッチハンドルについて (14・16・18インチのみ) ■

■「ママキャッチハンドル」は、まだ運転技術が身についていないお子様のために、保護者の方がとっさにキャッチするためのハンドルです。用途以外の、過度な負荷が加わるような使い方をされますと、破損・変形し、事故につながるおそれがありますので、絶対にお止めください。

○ 使ってよい用途

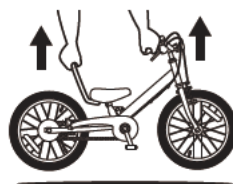
○ 走っているお子様を、とっさに捕まえる



○ ペダル練習の際、倒れないように保護者の方が後ろから支える

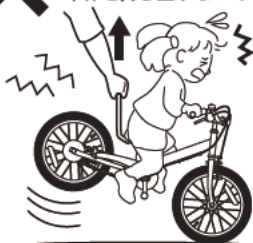


○ 車体を持ち運ぶため、保護者の方がお子様を乗せない状態で、ママキャッチハンドルとハンドルをつかんで、持ち上げる

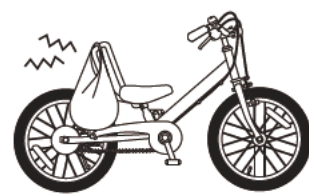


× 破損のおそれがあります。絶対にお止めください。

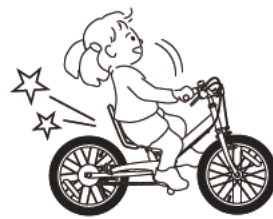
× お子様を載せたまま車体を持ち上げないでください



× ものをかけないでください



× 背もたれのようによりかからないでください



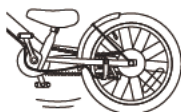
5) 乗る前の点検について

安全に乗って頂くために、乗車前に点検を実施してください。※自転車共取扱説明書P8~10を参照してください。

チェーンはゆるんでいませんか。

チェーンのゆるみが大きい状態でペダルを強く踏み込むと、チェーンが外れるなど危険があります。

※逆に、チェーンの張りが強すぎると、ペダルを漕いだ時にとても重たくなります。自転車店等でチェーンの張りを調整してください。(有料)



強制

チェーンのゆるみが大きくなったら、自転車店等ですぐに調整してください。(有料)

6) 長くご愛用いただくためのコツ

① 保管場所

長く、きれいに
乗っていただく
ために

●屋内で保管していただくのがベストですが、やむを得ず屋外に保管される場合は、市販の「サイクルカバー」をご使用ください。1週間に一度はカバーを外して中の温気を取ってください。



錆び易い場所（雨のかかる
ところ・海岸付近・浄化槽付近・
湿気の多いところ・工事現場
や金属加工場の近く）での保
管はお止めください。



こんなことも錆びの原因になってしまいます。
・サイクルカバーをかけたままにする。
・焚き火の煙がかかる。
・ジュースなどの飲料水がかかったまま放置する。



直射日光の当たる場所での保
管は、変色の原因になってし
まいますのでお止めください。

② 簡単にできる メンテナンス

1ヶ月に一度程度
することで、更に
快適に、長くお使
いいただけます。



お客様のご協力を
お願いします。

●塗装部（フレーム、チェーンケース）のお手入れ

乾いた布でよく拭き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよくふき取ってください。

●メッキ部（ハンドル・サドルポスト・スポーク等）のお手入れ

乾いた布で汚れをふき取り、「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

●錆び易い場所（上記①保管場所参照）に置く場合は、お手入れの回数を2週間に一度程度に増やしてください。

●雨など水に濡れたときは、乾いた布で水気をとりよく乾燥させた後、自転車共通取扱説明書「6）お手入れと保管」をご参照の上、注油してください。



傷がつくと錆び易くなります。乾いた布で汚れをふき取り、「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

③ 重大な故障になる前の 点検チェック

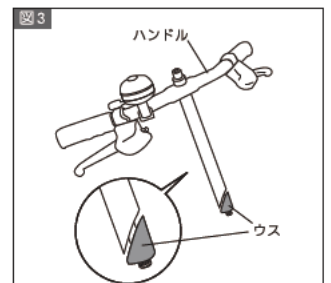
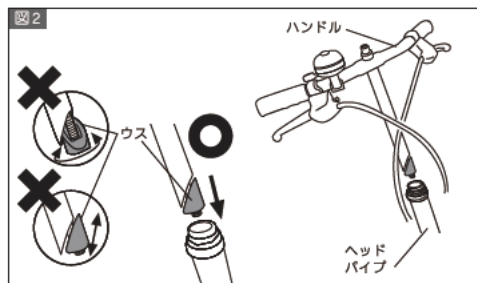
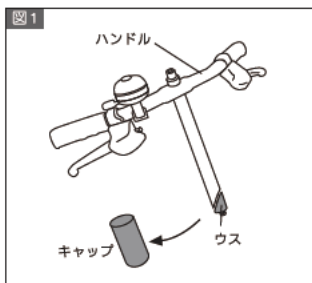
●ブレーキはきちんと作動しますか？

ご使用を続けていると、ブレーキを操作するワイヤは少しずつ伸びて、ブレーキの効きが悪くなっていきます。自転車共通取扱説明書の「ブレーキの調整方法」をご参照の上、常にブレーキが効くように調整してください。

7) 故障かな？と思ったら…トラブルシューティング

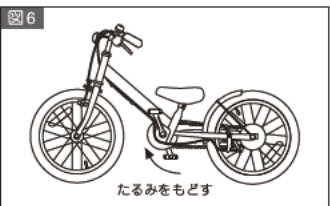
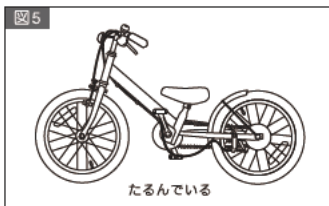
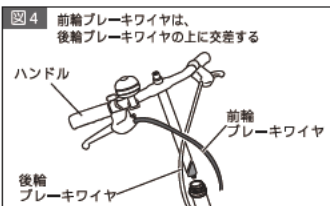
●組み立てについて

症状	チェック項目	判定	対処方法
① ハンドルをヘッドパイプ に差し込めない	ハンドルポスト先端の保護 キャップは外しましたか？		保護キャップを外してからヘッドパイプに 差し込んでください。
	保護キャップがついた ままになっていた。 保護キャップは外した。 ↓さらにチェック！ ウスは正しい位置にありますか？		ウスが正しい位置にないと組み立てられません。 ケッターサイクル専用取扱説明書「3）組み立て 方法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立て を行ってください。
② ハンドルを固定するネジ を締めこんでも、ハンド ルが固定できない	ハンドルポストの先端に ウスは付いていますか？	六角ボルトを緩めすぎて、 ウスが車体内部に落ち込ん でいる可能性があります。	車体をさかさまにしてウスを取り出し、ハンドルポ ストに取り付けて、ケッターサイクル専用取扱説 明書「3）組み立て方法」をもう一度良くお読み の上、再度組み立てを行ってください。



●その他

症状	チェック項目	判定	対処方法
① 後輪から「キーキー」音がする。	<p>ハンドルまわりのブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。 図4</p> <ul style="list-style-type: none"> ブレーキワイヤの配置が正常でない。 → ブレーキワイヤの配置が正常。 <p style="text-align: center;">さらにチェック!</p>	ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	ケッターサイクル専用取扱説明書「3」組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度ハンドルの組み立てを行ってください。
	<p>車体のブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。 図5</p> <ul style="list-style-type: none"> ブレーキワイヤの配置が正常でない。 → ブレーキワイヤの配置が正常。 <p style="text-align: center;">さらにチェック!</p>	図5 のように車体を通るブレーキワイヤがたるんだ状態になると、ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	たるみをなくすようワイヤを整えてください。 図6
	<p>お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 一週間以内のご使用の場合。 → お買い上げいただいて一週間以上使用の場合。 <p style="text-align: center;">さらにチェック!</p>	ブレーキワイヤは、一週間程度ご使用いただく間に、少しずつワイヤが伸びていきます（「初期伸び」と言われる全てのワイヤが持つ性質で、 <u>不良ではありません</u> ）。ブレーキワイヤはあらかじめ少しきつめに引っ張られた状態で製造されており、そのせいで常にブレーキが少しかかった状態になっている可能性があります。	初期伸びをわざと起こさせるため、ブレーキレバーを両手で強く、10回程度握ってください。改善されない場合は下記のチェック項目へお進みください。
	<p>乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> キーキー音がなくなった。 → キーキー音がなくなる。 → 	雨の日や湿度の高い日に、湿気によってブレーキがこすれ、音が発生することがあります。湿気がとれと解消されますので、乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。	お買い上げ店様にご相談ください。
② 前輪リムが黒く汚れている。	→ 正常です。	前輪リムは、ブレーキゴムが接触してブレーキを作用させる役割があるため、ご使用いただくとき必ず黒く汚れます。汚れが気になる場合は、市販の「ブレーキクリーナー」をお使いいただくと、比較的きれいに掃除できます。ブレーキクリーナーは自動車用品店や自転車店、ホームセンターでお求めいただけます。	
③ バンクかな？と思ったら。	<p>「バルブ」のねじを確認してください。 図7</p> <ul style="list-style-type: none"> バルブのねじが緩んでいる場合。 → バルブのねじが緩んでいない場合。 <p style="text-align: center;">さらにチェック!</p>	緩んだバルブから空気が抜けてしまっただけで、バンクではありません。	バルブのねじを手で時計回りに締めた上で、再度空気を入れてください。
	<p>タイヤに空気を入れて、一日放置し、空気が抜けていないか確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空気が抜けてしまう場合。 → 	チューブに穴があいてバンクしていると思われます。	お買い上げ店様にご相談ください。（お客様の責任によるバンクの場合は有料になります。）



※製品の仕様は、品質向上のため、予告なく変更する場合があります。そのため、取扱説明書の写真・イラストと製品の色・形等が、多少異なる場合があります。また、同一製品の中でも多少異なる場合があります。あらかじめご了承ください。